

【こぼと棟】

- こぼと棟は、常時濃厚な医療・介護を必要とする重症心身障害児者を支援する医療型障害児入所に特化した施設。
- 将来的には、こうした常時濃厚な医療・介護を必要とする重症心身障害児者についても、地域の支援体制の状況を見据え、可能な限り地域生活へ送り出すことを基本に、期限を設けて治療や訓練、在宅医療・看護の指導など、地域生活を営むために必要な支援を行う。

用語解説

○重症心身障害児者

重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複している状態の児童（者）をいう。

○医療型障害児入所施設

・児童福祉法に規定する児童福祉施設の1つであり、かつ医療法に基づく病院として、重症心身障害児等に対し、入所により保護、日常生活の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行う施設である。

・なお、平成24年4月からの児童福祉法の改正により、従来の「重症心身障害児施設」等が「医療型障害児入所施設」となった。

・また、18歳以上の重症心身障害者は障害福祉サービスにより対応することとなったが、児者一貫した支援を確保するため、障害者総合支援法に基づく療養介護の指定も受けることで、一体的に実施できるようになっている。

【リハビリセンター棟】

- 中央病院の患者及びこぼと棟の入所者に対し、運動機能の改善を目的とした理学療法や、遊びを通して認知の発達を促す作業療法、言語聴覚療法、視覚障害訓練の各部門が連携をとりながら、地域生活において必要となる機能の訓練を行う施設。
- 中央病院の旧機能訓練センターが3フロアーに分かれていたが、新リハビリ棟は、全ての訓練室を1つのフロアーに配置し、部門間の連携強化を図った。
- 訓練室の面積を1.3倍としたことにより、室内での歩行訓練等の訓練をより充実したスペースで行うことが可能となった。

<訓練室の床面積の推移>

旧機能訓練センター	635.16 m ²
新リハビリセンター棟	834.93 m ²

<中央病院における機能訓練の利用状況>

年 度	旧機能訓練センター			新リハビリセンター棟
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
年間件数	24,105件	23,676件	22,826件	26,626件（見込）
一日件数	98件	96件	93件	109件（見込）